

放課後等ディサービス 夢門塾 自己評価表

記入日： 2022 年 12 月 30 日
事業所名： 夢門塾ゆうゆう総社

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	6	0	0	・運動室が2部屋あるので、活動内容によっては少人数で活動出来るようチーム分けや環境設定などに配慮している
	② 職員の配置は適切である	6	0	0	・現状維持していく
	③ 衛生面の管理が行き届いている	5	1	0	・毎回必ず次亜塩素酸での消毒などを徹底して行っている ・おもちゃの掃除や管理の機会をもう少し増やしていく
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定を振り返り）に、広く職員が参画している	6	0	0	・管理者を中心に職員全員で業務に取り組んでいる
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	・公開先を提示して、職員全員で内容を把握し、研鑽していく
	⑥ 自己評価の結果を公開している	6	0	0	・公開先を提示して、職員全員で内容把握に努める ・新採用の職員に伝えきれていなかったので、再度周知徹底する
	⑦ 職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	6	0	0	・ZOOMなどの研修に積極的に申し込み、可能な限り全職員が研修を受けていく環境を整え、機会を設けている ・療育関連や運動関連の書物が豊富にあり、隨時活用している
適切な支援の提供	⑧ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6	0	0	・現場の職員の意見や視点が反映されるよう、各職員でアセスメントシートを作成した上で計画書を作成している ・アセスメントシートの記入を毎月担当制にしているので、視点が偏らないように、毎回違う子のアセスメントシートを担当していく
	⑨ 活動の計画をチームで行っている	6	0	0	・行事を決めた時点で担当を決め、職員全員で意見や改善点を共有している ・事前に職員で実際にやってみて指示書を仕上げている
	⑩ 活動の計画が固定化しないよう工夫している	6	0	0	・児童指導員を中心に、企画から指示書作りまでみんなで取り組んでいる ・同じ活動があまり続かない様にたくさんのアイデアのストックをしている
	⑪ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	6	0	0	・毎回の活動に対して最大限の配慮をし、課題設定を行っているが、今後は職員全員が個別支援計画を細かく把握し支援出来るように共有していく場を増やしていく
	⑫ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	6	0	0	・自由時間も計画に沿って支援の一環として受け止め、全ての利用時間に各個人の課題に合わせた活動を計画出来るように意識している
	⑬ 支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0	・リーダーを中心に当日の支援の内容や業務内容の確認をする時間があるので、職員の一日の動きが把握しやすい
	⑭ 日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	・会議の内容や相談支援との連携・保護者とのやり取りなどを個人のファイルに残したり、保護者へ手紙を書いて伝えたりしている
	⑮ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	・モニタリング後、自発管より朝のミーティングにて保護者様からの自宅や学校での困り感や現在の課題、将来の希望などを伝達する場がある
	⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6	0	0	・職員がガイドラインを学ぶ機会を持ち、積極的に支援に組み込むよう努めている

関係機関、保護者様との連携	⑯ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている	6	0	0	・保護者の方に毎月声をかけ、下校時刻の変更など常に連絡を取り合っているので変更が迅速に行われる ・連絡調整は現場にいた職員がすぐに管理者や職員に毎回伝え同じ事例が起きないよう工夫している
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	2	4	0	・移行支援会議を行い情報共有をしている ・管理者が1人で会議や打ち合わせに参加している事が多いので情報共有を強化する
	⑲ 校舎を卒業し、放課後等マイサーイスト事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供して	6	0	0	・開所してから1人就労へ送り出したが、他に例がないので今後経験していきたい
	⑳ 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	1	・社協や相談支援とは密に連携しているが、児発との連携は最初のみ ・移行支援会議などを積極的に参加していく
	㉑ 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	6	0	0	・送迎の時に保護者の方から相談を受けた時は必ず管理者に伝達し、職員全員で課題共有して対応している ・ご家庭の協力が必要な課題はすぐに連絡して早期対応を心掛けてい
	㉒ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0	・契約書の内容などを全職員が周知出来るよう、玄関に掲示したり、ファイル作成したり、読み合わせなどを行っている
	㉓ 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	6	0	0	・送迎時や電話などで相談を受けた時は直ちに共有し、真摯に行っている(特に管理者への伝達を徹底して行っている)
	㉔ 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	—	—	—	・市内のコロナの状況が不安定だった為、本年度は開催が困難であった 希望される声を多数頂いているので、小規模でも開催していきたい
	㉕ 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	・最初の苦情窓口が管理者にある事を再度伝え、明確化していく
	㉖ 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6	0	0	・毎月配布している行事予定表やお便りを通して発信できている
保護者様への説明責任等	㉗ 個人情報保護に十分注意している	6	0	0	・個人ファイルは鍵付きの棚で管理している
	㉘ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	・子どもたちや保護者様に合わせて迅速に対応している
	㉙ 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	1	2	3	・コロナ禍の現在では難しいので、終息の兆しが見えたら参加出来るよう、情報集めをしておく ・自立支援協議会などの会議は全て参加している
	㉚ 緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	6	0	0	・特にコロナウイルスの感染防止対策については常に新しい情報を共有している ・事故や防災などのマニュアルはすぐに確認出来るよう掲示している
	㉛ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	5	1	0	・避難訓練を実施出来ている(子ども達全員が理解できるよう工夫していく)
	㉜ 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	・毎年職員全員で研修に参加している
	㉝ いかなる場合も身体拘束を行つかずかについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	5	1	0	・現段階では身体拘束の事例は無いため「どちらとも言えない」との回答が1名あり
非常時などの対応	㉞ 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	6	0	0	・その都度書類に記入して頂き、徹底した管理を行い個別にファイルにて保管をしている
	㉟ ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	6	0	0	・記録などには残しているが、ヒヤリハットの用紙への記入数が少ないので、今後は小さなことでも記入し、その都度改善を図っていく
	保護者様評価、自己評価についてまとめ				
	<p>・コロナウイルスの影響を受けつつも、各ご家族様の迅速な報告や情報をもとに事業所内での感染は最小限に抑える事が出来た。</p> <p>・公園などの外出も控え、運動中もマスクをした状況下で熱中症対策を強化しつつ感染拡大を避ける事に努める一年だった。</p> <p>・保護者の方が望んでいる保護者会や来所しての見学会などの行事が開催出来なかったので、コロナウイルスの終息の兆しが見え次第開催していくこう</p> <p>・実際に参加する研修が減った状況下で、オンラインの研修が増え参加しやすかった。今後も可能な限り職員が様々な研修に参加出来る機会を確保して、スキルアップを図っていこうと思う。</p>				